

はっぽう

議会だより

黄金の絨毯をコンバイン走る

- 9月定例会ダイジェスト…………… 2～5 ページ
- 決算特別委員会…………… 6～8 ページ
- 町政を質す（一般質問要旨）…………… 9 ページ
- 一般質問…………… 10～13 ページ
- 議会全員協議会…………… 14～15 ページ
- 四方八峰・編集後記…………… 16 ページ



9月
定例会

四方八峰

茂浦民謡同好会

（町を元気にする団体紹介シリーズ）No.6

会長 日沼 和義さん

茂浦民謡同好会は、昭和20年代後半に、峰浜から茂浦に嫁いできた女性が、故郷で踊っていた民踊を地元の婦人方に広め、茂浦青年会や婦人部がそれを継承し、昭和48年頃に、50人程度が参加し習った「通り踊り」を披露したのが始まりとのことです。最初は披露する機会がお盆に間に合わず、稲の収穫に合わせ「稲見通り踊り」として行われたそうです。2回目からは、お盆の14日に実施し、当時は笛や太鼓、三味線など生の演奏でたいそう賑やかな踊りだったとのことです。

その後、時代の変化やライフスタイルの変化により、同好会活動が縮小されていきました。

現在の同好会は昭和50年に茂浦青年会のメンバーで再発足し、毎年お盆の14日に披露していましたが、平成2年からは町が始めた「ハタハタの里ブリコ祭り」と日程が重なったことから、「通り踊り」はブリコ祭りの中で披露しました。その後は地域の敬老式や盆踊り大会で活動続け、平成18年の町の合併を機に、16年ぶりに「通り踊り」を復活させ、現在に至っています。

「笑顔で踊って、帰りも笑顔で」をモットーとし、「踊りで地域の人を喜ばせたい。」「だんだん薄くなっていく地域のつながりを大切にしたい。」との会員の願いをもとに、40代から70代まで、職業はバラバラの総勢25人のメンバーのほか、当日には地域の小学生の応援参加も仰ぎ、茂浦自治会を中心とした近隣自治会での遠征公演もこなしています。

地域の小さな広場や道路の安全地帯で、近所

のお婆ちゃんお爺さんとお盆で帰省した親戚、兄弟の目の前で演目披露の御花をいただいて、そのあがり地域親睦会と夜遅くまで続く……。

今、もっとも困っていることは、少子高齢化による後継者不足、特に子どもや若年層の踊り手が少なくなり、踊りを覚えた子どもも高校を卒業すると地元を離れてしまい、地域に踊り手がいなくなることです。踊りを披露する場も減少傾向にあるが、地域のイベントなどに積極的に参加し、「笑顔の伝道師」として活動が続けたいとのことでした。地域の小さな活動ですが、今後も地域を元気にするためがんばってもらいたいものです。

（取材 山本）



沿道で披露する「通り踊り」

編集後記

彼岸までのきびしい暑さも終わり、野原では赤トンボが飛びかき、秋の訪れを感じます。

コロナ禍のなか、本定例会は感染症対応のため、演台にはアクリル板を設置、出席者はマスク着用で行われ、息苦しい状況の中での開催でした。

議会だよりの「四方八峰」も、早いもので6回目となりました。地域や町内で頑張っている様々な団体の活躍を知ってもらえたと思います。これからも、皆さんの声や参加をお願いし、親しみやすい編集に努めます。

（記 腰山良悦）

- 議会広報編集委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 皆川 鉄也 |
| 副委員長 | 山本 優吉 |
| 委員 | 山良 聡人 |
| 委員 | 腰山 良悦 |

9月 定例会 ダイジェスト

9月定例会は9月2日(水)から11日(金)の10日間の日程で開催し、条例改正や補正予算等の議案、令和元年度決算等が上程されました。

そのほか、請願1件、陳情3件を審議しました。

一般質問では、4人が登壇し、町政を質しました。

【補正の内容】

感染予防対策に係わる消耗品(マスクや消毒用アルコール、段ボール製ベッドやパーテーション、抗菌防虫用の毛布等)に2907万1千円、防災備蓄倉庫を建設する際に必要な設計監理委託料等に221万5千円、防災備蓄倉庫建築工事3000万円、トイレ改修工事費(ファガス、峰栄館、旧堀川小学校)及びバリアフリー改修工事(旧堀川小学校、旧岩館小学校)120万円、非接触型体温計、避難所開設時に必要な大型扇風機、感染予防保護テント、屋外シャワーキット購入費3827万6千円。

【議員から町へ(質疑)】

問 段ボールベッドは、各避難所に何台ずつ用意する計画なのか。
また、授乳室とかそういう対応も考えているのか。

答 段ボールベッドは2000個予定している。

授乳室については、保護テント1500個の購入を予定している。こちらは赤ちゃんの授乳にも使える。

再質問 8避難所にどのくらいの人数が収容できるのか。

答 旧岩館小学校に600人、八森小学校1000人、旧八森中学校1240人、八峰町役場100人、旧岩子小学校400人、峰浜小学校650人、旧堀川小学校650人、八森中学校1200人。

新型コロナウイルス 感染症拡大防止対策事業費に 1億1,076万2千円を追加

(令和2年度一般会計補正予算(第4号))



購入予定の段ボールベッド

問 ファガスのエレベーターが現在故障して使えない状態である。
万が一、何かあった際に避難に困難を伴うので検討してもらえないか。

答 今、このコロナ禍で避難所もできるだけ分散型ということで数多く考えなくてはいけない。今後使えるようにはしていかなければいけないだろうと考えている。

町内各小中学校にエアコン設置のため5691万7千円を追加

(令和2年度一般会計補正予算(第4号))

【補正の内容】

峰浜小学校：設計監理業務委託料132万9千円、工事請負費1686万3千円。
八森小学校：設計監理業務委託料141万3千円、工事請負費1827万1千円。
八峰中学校：設計監理業務委託料138万6千円、工事請負費1765万5千円。

【議員から町へ(質疑)】

問 非常に(経費が)高すぎる。むしろ30万円程度の家庭用の大型サイズのエアコンを各部屋に二つずつつけた方が安上がりなのでは。
大型のエアコンを導入するとその保守、維持管理費がかかり、将来にわたってそれが負担になるし、エアコンは普通10年程度でまた取り替えることになる。メンテナンスの点で効率が悪

いのではないか。

答 つり下げ型のエアコン機器を設置しようとしているが、予算計上の段階であり、この後実際の設計の段階で、現在予定しているこの大型のものがないのか、小型のエアコンを複数つけるものでも対応できるのか検討してみたい。

問 このエアコンは冷暖両用なのか。
答 冷暖ともに可能なものを設置する。

問 今回用意するエアコンについては、コロナ感染対策ということで、来年以降の夏休み中にコロナの影響で授業を行わなくてはいけない場合を想定して設置するものである。
(全会一致で可決)

事業継続臨時交付金事業に 1004万2千円を追加

(専決処理事項の報告について(令和2年度八峰町一般会計補正予算(第3号))

【補正の内容】

6月議会で計上した事業継続臨時交付金(予算額3000万円)の申請者が当初の見込みより多く予算が不足したため、交付金1000万円と郵送代等の事務手数料4万2千円を追加補正

【議員から町へ(質疑)】

問 交付金を受けた事業所の数は。
答 193件。内訳は、20%以上影響があった所が185件、15%から20%未満の影響という所が8件。

問 業種別に統計はとっているか。

答 建設・建築業が35件、漁業33件、サービス業31件、産直の関係23件、飲食業16件。
(全会一致で承認)

過去の議会だよりも 閲覧できます!

下のQRコードをスマートフォンやタブレットの専用のアプリで読み取ることで、過去に発行された(平成23年から)議会だよりを閲覧することができます。



今号の表紙の写真



9月下旬の秋空のもと、各地で稲刈りがスタートし、当町の田んぼのあちこちでも活気があふれていました。

私は反対します！

(見上議員)

●一般会計：税金の不納欠損が前年比で町民税、固定資産税とも多くなっている。

それと、議会事務局のタブレットに262万5900円の費用がかかっている。議長と議員と三役と課長職が使用しているが、議会告示日には資料が掲載されていなければならぬのに6月定例会でも今定例会でも(掲載している資料のファイルの一部が壊れていて)数値が空欄で表示される部分があった。気の緩みがあるのではないか。

画面だけ追っていく今のやり方では、複合的に資料をみることは大変である。議員としてチェック機能が損なわれる。

(賛成多数で認定)

●国民健康保険事業勘定特別会計：資格証明書(＊)の発行が15世帯になつている。この世帯の医療費は100%窓口負担である。憲法第25条に触れることから、資格証明書の発行は他市町村で極力控えている。八峰町は全県一の発行市町村になつてしまった。

生計同一者を含む家族全員の金融機関調べは減免申請を受けにくくしている。

【用語説明】資格証明書(＊)：特別な理由がなく1年以上以上保険税を滞納した場合発行される。資

提出

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について

(提出者 秋田県町村議会議長会 会長 金子芳継)

賛成理由

新型コロナウイルス感染症の拡大が地方財政に与える影響は大きく、地域が実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に維持していくためには、地方税、地方交付税等の一般財源の確保は不可欠である。

(全会一致で採択)

衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣に意見書を提出

●加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める陳情

(提出者 全日本年金者組合秋田県本部能代山本支部 執行委員長 吉田瑞穂)

賛成理由

加齢性難聴者が補聴器を利用することで安心して社会生活を送ることは、難聴者本人はもとより地域においても重要なことであり、公的補助制度の創設は必要と判断されたため。

(全会一致で採択)

内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

格証明書では医療機関の窓口で一旦医療費の10割を支払い、後日申請により給付割合相当額(7割または8割)を還付し、その金額から未納となっている国民健康保険税の納付をお願いすることになる。

(賛成多数で認定)

●介護保険事業勘定特別会計：介護保険料の普通徴収195人のうち、未納は24人となっている。(普通徴収に未納が多いということは)年金月1万5千円未満の高齢者がとても多いということである。この未納の方々には介護保険のサービスをどれくらい受けられるのか。介護の不納欠損は146万円出ている。一人一人の高齢者が安心して生活するためには、家族介護の支援を強めたり、低年金者への援助施策、こういうものもつと必要と思われるがこういう施策が見られない。

(賛成多数で認定)

●後期高齢者医療特別会計：介護保険と同様、普通徴収の保険料の滞納繰越分保険料の徴収率は60・2%。この方々から督促料と延滞金とはとるべきではない。

75歳以上になればどんな健康な人でも病気になるのが通例だ。最も医療サービスが必要とするのに、広域連合事業の健康づくり訪問事業と受託事業しかない。この制度は県一本化になっているが、基金がどのくらいあるかなどその内容は私たちに明らかにされていない。

どんなに年金が少なくとも高齢者個人から保

険料を徴収する、家族の扶養になることは許されない、こういう制度に反対をする。

(賛成多数で認定)

請願・陳情

採択された請願・陳情

●秋田県主要農作物種子条例の制定を求める請願書

(提出者 食と緑、水を守る秋田県労農市民会議 議長 石田寛 紹介議員 皆川鉄也・芹田正剛)

賛成理由

水稲、麦及び大豆が主要農産物である本県において、県が高品質な種子生産の中心的な役割を果たし、予算及び関係部署の人員体制を恒久的に措置する条例を制定することは必要不可欠であるため。

(全会一致で採択)

秋田県知事に意見書を提出

●日米地位協定の抜本的な見直しを求める陳情(提出者 秋田県平和委員会 代表理事 川野辺英昭)

賛成理由

現状においてアメリカの保護なく日本の安全は維持できないなど一部異論があったが、陳情の内容は納得できたため。

(全会一致で採択)

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣に意見書を提出

賛否が分かれた議案等の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案等を掲載しています。

議案	議員氏名											議決結果	
	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也		
令和元年度八峰町一般会計決算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	認定
令和元年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計決算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
令和元年度介護保険事業勘定特別会計決算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定
令和元年度後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		認定

ここが聞きたい!

令和元年度

決算審査報告



質疑

令和元年度の一般会計及び各特別会計について
ました。分科会では町政全体にわたり、数多くの

2分科会に分かれて審査し、すべて原案認定され
質問が出されました。抜粋してお知らせします。

問 ふるさと八峰応援基金寄附金(ふるさと納税)が前年度より944万5千円の減となっているが、原因は何であると考えているか。
答 日本白神水産のフビ関連の返礼品がなくなったことが一番の原因と考えている。

問 地域おこし協力隊について、任期終了後に活動報告会は行っているか。
答 これまで3名が協力隊として活動したが、行っていない。今後は開催する方向で検討したい。

問 議員、三役、管理職(課長職)にタブレットを配布し、ペーパーレス議会を実施しているが、タブレットの費用対効果はどうか。
答 議員、三役、管理職(課長職)にタブレットを配布し、ペーパーレス議会を実施しているが、タブレットの費用対効果はどうか。

問 当町にもイノシシはいろのか。
答 目撃情報はあったが、畑への被害は今のところはない。

問 ツキノワグマ捕獲報奨金として、1頭1万円としているが、現場では5人程度の猟友会員が出勤し、1回の出勤で半日は時間を費やしていることから、1頭当たりの単価の見直しについて検討してほしい。
答 検討したい。

問 クマの忌避剤の効果は。
答 学校敷地内や自治会要望施設等で試験的に活用しており、クマに対し一定の効果は見られた。ハクビシンに対しても効果が認められつつある。

問 クマの忌避剤の効果は。
答 学校敷地内や自治会要望施設等で試験的に活用しており、クマに対し一定の効果は見られた。ハクビシンに対しても効果が認められつつある。

答 費用だけを考えるのではなく、紙ベースよりも割高になっているが、書類の保存スペースの問題、各種会議の通知や情報の収集・提供の迅速性など、一定の効果があるものと考えている。

意見 倒壊の恐れがあるカーブミラーの点検を行うこと。
答 海岸線を中心に調査しており、適宜修繕を行っている。

問 耕作放棄地の現状はどうなのか。
答 農地パトロール等により、遊休農地(耕作放棄地)の把握・指導に努めているが、耕作条件が悪い農地は、担い手の確保が難しい状況にある。今後、耕作者の高齢化に伴い、遊休農地の面積拡大が懸念される。

問 塩もろみの特許は今どうなっているか。
答 以前は特許を会社町、県の三者が保有していたが、現在は町4割、県6割を保有している。県から他社で塩もろみを製造する話が来ているので利用があれば町に使用料として収入が入る。

問 道の駅はちもりの指定管理先はどうなったか。
答 ハタハタの里観光事業の指定管理が7月1日に終了し、地産八森大黒屋合同会社への業務委託に変更した。

問 道の駅はちもりの移転の話はどうなっているか。
答 県本庁や振興局と協議を重ねている。

問 道の駅はちもりの移転の話はどうなっているか。
答 県本庁や振興局と協議を重ねている。

問 生薬の状況はどうか。
答 小規模でどれだけ生産量を増やせるかの試験栽培中で、10

aあたり換算の乾燥重量を約20kgから110kgまで増やすことに成功している。今後は農家数や面積の拡大を検討する。

問 特別支援教育支援員はどのよう配置しているのか。
答 基本的には、一学年に一名の配置だが、状況に応じた配置である。

問 八森土床体育館は建設してからの年数が経過しているが大丈夫か。
答 昭和42年に建設し、平成14年に改修(土床に変更)を行っている。今後、安全面を考慮し、強度調査等を検討する。

問 八森土床体育館は建設してからの年数が経過しているが大丈夫か。
答 昭和42年に建設し、平成14年に改修(土床に変更)を行っている。今後、安全面を考慮し、強度調査等を検討する。



当町で目撃されたイノシシ(水沢ダム周辺にて)



当町がペーパーレス議会になってから3年経過した

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

4人の議員が一般質問

一般質問

定例会2日目の一般質問では4人の議員が町政について質問しました。

p10 笠原 吉範 議員

- 1 農業ヘルパー制度について
- 2 リモートワーク移住促進について
- 3 チゴキ崎について

p11 山本 優人 議員

- 1 漁業振興策について
- 2 テレワーク（在宅勤務）導入企業の誘致について

p12 見上 政子 議員

- 1 国保税の減免申請に同一家族全員の収入調べは必要か
- 2 高齢者の対策と支援について
- 3 陸上風力発電の住民説明会について

p13 水木 壽保 議員

- 1 鳥獣被害について
- 2 河川改修について
- 3 ナラ枯れ対策について



決算に対しての議員からの意見

令和元年度一般会計及び特別会計の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、9月11日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。その内容を紹介します。
 なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

意見1 自主防災組織の育成

自助・共助を率先して行う自主防災組織は、災害発生時に非常に重要な役割を果たすなど、全国各地で組織され注目されている。
 自主防災組織の育成・強化に努めること。

意見4 ふるさと納税の目玉になり得る返礼品の開発

ふるさと納税の受け入れ額が大幅に減少している。目玉となる返礼品の開発を支援するなどし、魅力ある返礼品の充実に努めること。

意見2

大規模災害時の指定避難所

大規模災害や複合型災害などによる広範囲での避難や、さらにコロナ禍における避難などを想定した避難所の設定、そのための訓練等を行うこと。

意見5

ジオパーク事業の見直し

長年展開してきたジオパーク事業での成果が町の活性化に繋がっていないと感じられない。次の認定までに事業の再検討や見直しを行うこと。

意見3

女性消防団員の増員・確保

女性消防団員の増員・確保に努めること。

意見6

スクールバスの運行基準の見直し

クマの出没危険が心配される折、全児童が安全に通学できるようにスクールバスの運行基準を見直し、適切な運行を行うこと。

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

当町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。

質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。



笠原 吉範 議員

農業の人手不足深刻

町長 高い問題意識を

持って対応

笠原

人口減少や高齢化等により、野菜や果樹の生産現場で人手不足が深刻な問題となっている。このままでは、新規就農や規模拡大にブレーキが掛かることが懸念される。基盤産業である農業を守るため、早急に取り組まなければならない問題である。どう対応するのか。

町長

農業の人手不足解消に向け、JA秋田やまもとに「無料職業紹介事業」に取り組んでもらうよう働きかける。県サポートセンター作成のハンドブック等を活用し、農業現場の人材確保につながる情報を提供する。町として高い問題意識を持って県内外の情報収集に努めていく。

リモートワーク拠点を

目指せ

町長 企業の情報収集に

努める

笠原

新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートワークが急速に広がっている。パソコンや通信環境を整えば、どこでも従来通りの仕事ができることから、比較的感染リスクの低い地方への移住やUターンに関心を持つ人も少なくないようだ。県でも、リモートワークを活用した移住・定住を促進し、人材誘致を進めるとの方針を打ち出した。町にリモートワーク拠点を。

への移住が増えていくと考える。町としても、八峰町への人の流れが出てくるという認識を持って、どのような事業内容の企業が地方におけるリモートワークを求めているのかなどの情報収集に努め、空き家改修事業や遊休施設の有効活用に取り組んでいく。

チゴキ崎の整備を

町長 危険を招くため困難

笠原

チゴキ崎にケーブルがあり、むき出しの歩道があり、先端に渡る橋が撤去されている。安全に楽しめる場所となるよう歩道や橋の整備を。

町長

橋は、釣り人がの転落事故が発生し、県と相談し撤去した。橋があれば、軽装備での無謀な釣り人が渡ってしまうため、整備は困難である。



県立公園でもあるチゴキ崎の整備が必要ではないか

養殖試験の早期実施を

町長 漁業者の

熱意に応える

山本

当町の漁業は農業とともに基幹産業であり、漁業の衰退は町の衰退と一体となす。若手の新規漁業参入者が出現していない現実、今後の漁業の衰退を暗示している。早急に水産振興策を計画立案し実行が必要だ。岩館地区での静穏海域（*）の環境が整つ

町長

アワビ、岩コ、ギバサの磯根資源の管理育成・増殖と付加価値の向上、アワビ

やヒラメの種苗放流、県漁協が国や県や町に要望している「漁港の静穏域エリアの拡大」と漁港を活用したつくり育てる漁業、国の「浜の活力再生プラン」を推進している。特に「浜の活力再生プラン」は、「秋田県地域水産再生委員会北部部会」を組織し、水揚げされたウスメバル等の主要魚種の船上における血抜き処理の徹底とタグの装着による差別化、生き締めや神経締めなどの鮮度保持による漁価の向上を目指し、漁業者及び関係機関等が一丸となって漁業経営の安定化に取り組んでいる。

養殖事業の取り組みは会議ばかりで、これではいつになっても養殖業は進展しない。地元漁業者の熱意と期待に応えたい。

山本

（用語説明）
静穏海域（*）・・・防波堤を設置して創出する穏やかな海域のこと。



次世代の若者が漁業で生活できる基盤を！

職員によるテレワークの情報収集を

町長 来町企業と

意見交換する

町長に企業とのトップと交渉をといるのではなく、最初に職員が、会社の担当と情報交換することが必要だ。

町長

首都圏等から来町する企業の人々と意見交換している中で、そういう場の中でテレワークについての考え方の情報収集は可能だと思う。

山本

テレワーク企業の誘致は、空き家、廃校舎の活用などを解決する可能性を秘めている。

町長

県が10月11月に企業調査するので、その結果を見ながら行動したい。



山本 優人 議員

町長

基幹産業であるのに、町の漁船・漁具購入費補助支援制度が少ないと考えている。

山本

20・30代が数年したら漁師として一人立ちできるような漁船漁業に対する支援が必要だ。



水木 壽保 議員

水木 全国では毎年のように豪雨による水害や土砂災害が多発し、多くの人命が奪われているほか、集落が孤立してい

町長 用地買収が見込めない

大信田地区バイパスの進捗状況は

る。いつこのように大雨による災害が発生するかわからない。大信田バイパスの進捗状況はいかに。

町長

埴川の氾濫状況を踏まえ、県に河川改修事業に取り組んでいただくよう要望している。また、大信田地区の孤立を防ぐための避難道路としてのバイパス計画

については、その必要性を十分認識している。これまで、検討してきたが用地買収が見込めないことから、事業化できずにいる状況にある。



見上 政子 議員

国保税減免

収入調べ必要か

町長 申請書だけでは不十分

見上

国保税の減免申請には、生計を一にする家族全員の預貯金調への同意書提出が必要だ。県内自治体のほとんどは窓口での書類審査で申請する。規則を改正し同意書提出を廃止する考えはないか。

町長

申請書だけの申告では漏れや誤りの可能性が

あり、不十分という考えから規則で定めている。管内の3市町は申請書の他、通帳残高の写しを添付する方法で確認しているの、結果的に同じ考え方に立っていると思う。

町長

老人性難聴の判断には専門医が必要で、集団検診の項目に加えるのは無理がある。補聴器の購入支援は、聴覚障害が認められれば価格の1割負担で購入できるので不要と考える。介護用品支給手続きの簡素化は特に必要ない。紙おむつ券の発行は、

見上

白神ウインド社の峰浜地区への風車8基建設計画を知らない住民が多い。住民説明会はどこで何人参加して開かれたのか。鹿児島県では台風10

広域風力

住民への説明不十分

町長 事業者の説明義務あり

号で風車の羽が折れ落した。介護施設等に被害が出た場合、地権者の沢目財産区や最終責任者である町長にも責任が及ぶのでは。説明会は環境影響評価

町長

問題が起きた時は八峰町長として、自治会長等と協議しながら事業者に対応を求めていくことになる。



老人性難聴時の補聴器購入に助成を

一歩踏み込んだ

高齢者支援を

町長 現行制度と

仕組みを継続

見上

町の人口の48%を占める高齢者が安心して生活できるように、現行制度の充実と新たな制度が必要では。難聴検査の定期検診項目への追加、補聴器購入補助、介護用品支給事業の手続き簡素化と紙おむつ券の発行、軽度生活援助事業の利用券発行について検討する考えはないか。

捕獲檻を増やす考えは

町長 忌避剤の

効果についても検証

水木

鳥獣害対策で視察した埼玉県飯能市では、檻による捕獲をシルバートンやアナグマなどが、民家の周りに毎日のように現れ、農作物の被害が増えている。捕獲檻を増やす考えはないか。

町長

町所有の20基のうち、17基を二ホンザル捕獲用として設置している。残り3基はアナグマの捕獲に充てることは可能だが、猟友会が保有しているツキノワグマ用の檻を含め保管場所に苦慮している状況でさらに増やすことは困難。被害軽減に繋がっているとの報告がある



檻を使用してハクビシンやアナグマの捕獲にも力をいれてほしい

電気柵助成制度を促すとともに忌避剤の効果

についても検証したい。

ナラ枯れの対応は

町長 森林環境譲与税を活用

水木

今年は非常にナラ枯れが多く発生している。昨年までは里山であったが今年は水源涵養保安林まで拡大している。町はどのように対応するのか。

町長

国や県の補助事業を活用しながら防除や駆除に努めるとともに、被

害の拡大を未然に防止するため、森林組合などが行う更新伐による高齢ナラ材の積極的な伐採を促す。また、昨年度より国から交付されている森林環境譲与税をナラ枯れ対策事業に活用できないかと県と相談し、被害の拡大防止に繋がる方策の一つとして検討する。

新型コロナウイルス感染症対策地方創

生臨時交付金(2次補正分)充当事業の概要について

8月6日(木)に議会全員協議会が開催され、当町の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金(2次補正)も報告がありました。その中から、当町の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金(2次補正)

金の充当事業の概要の説明がありました。また、懸案となっていた峰浜診療所常勤医師の採用について分)充当事業の概要についてお知らせします。

町からの説明

(1) 経済支援対策の専決処分(7月8日付け)

事業名	事業費	事業内容
1 事業継続臨時交付金(追加補正)	10,042千円	事業概要: 新型コロナウイルスの影響で収入が減少した事業所に事業継続のための支援金を交付する。 対象: 令和2年3月から6月までの任意のひと月の収入が前年同月比15%以上減少した町内事業所等 支給額: ①減少額15%以上20%未満・10万円 ②減少額20%以上・・・20万円

(2) 現在検討している感染拡大防止対策

事業名	事業費	事業内容
1 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業	4,002千円	事業概要: 町有施設における施設利用者、職員の安全な衛生環境を確保するために、検温器、アクリル板等を設置する。 対象: 役場庁舎をはじめとする町有施設
2 避難所衛生環境整備事業	110,751千円	事業概要: 町指定緊急避難所の衛生環境の整備と避難時に必要となる物品の備蓄等。 対象: 町指定緊急避難所 8カ所
3 宿泊施設感染予防対策事業補助金	2,815千円	事業概要: 町内宿泊施設に対し、新しい生活様式を踏まえた施設改修等感染予防対策に係る経費を補助する。 対象: 町内宿泊施設 支給額: 宿泊定員数に応じ定額給付。10人ごとに10万円追加。上限なし。
4 学校保健特別対策事業費補助金	5,166千円	事業概要: 小中学校にサーモグラフィカメラや非接触型体温計等を設置し、感染拡大防止と児童・生徒の健康管理を管理する。 対象: 町内の小・中学校
5 小中学校空調設備整備事業	56,917千円	事業概要: 今後の臨時休校による授業日数確保のため、夏休みを短縮する事態の発生に備え、児童・生徒の健康管理を図る。 対象: 町内の小・中学校
6 GIGAスクール事業(公立学校情報機器整備事業)	9,088千円	事業概要: 児童・生徒に1人1台タブレット端末を整備し、教育のICT化の推進と臨時休校時のオンラインによる学習支援を可能にする。 対象: 町内の小・中学校
計	188,739千円	

(3) 現在検討している経済支援対策

事業名	事業費	事業内容
1 雇用維持臨時給付金事業	40,036千円	事業概要: 町民の雇用を維持しており、前年売り上げ30%以上減少した事業者へ、社会保険被保険者数に応じ1人当たり10万円(上限300万円)を支給する。 対象: 4月~9月の6カ月間の売り上げ合計が前年と比較して30%以上減少した事業者
2 在宅介護者支援金給付事業	1,515千円	事業概要: 訪問介護福祉サービス利用を自粛している、重度障がい者がいる世帯に支援金を給付する。 対象: 特別障害者手当、障害児福祉手当、特別児童扶養手当受給者 支給額: 1人当たり5万円
3 温泉利用促進事業	7,676千円	事業概要: 外出自粛要請により利用者減少の影響を受けている温泉施設で利用できるクーポンを1人当たり2枚発行する。 対象: 全町民
4 町内宿泊助成事業	21,465千円	事業概要: 外出自粛要請による観光客等の減少に伴い、影響を受けている宿泊施設で使用できるクーポンを発行する。 対象: 北東北3県の在住者(段階的に対象の拡大も検討)
5 公営企業会計操出・補助(簡易水道事業)	6,600千円	事業概要: 社会的に欠かすことのできない公衆浴場の事業継続のため、事業者の水道使用料減免分を補助する。 対象: ハタハタ館及び秋田白神温泉ホテル
6 公営企業会計操出・補助(下水道事業)	840千円	事業概要: 社会的に欠かすことのできない公衆浴場の事業継続のため、事業者の下水道使用料減免分を補助する。 対象: ハタハタ館及び秋田白神温泉ホテル
計	78,132千円	

(4) 現在検討している強靱化対策について

事業名	事業費	事業内容
1 ウェブ会議用パソコン導入事業	2,631千円	事業概要: 感染拡大防止のため、庁舎等においてウェブ会議が可能な環境を整備する。 対象: 役場庁舎等
2 換気対応空調設備導入事業	15,562千円	事業概要: 感染予防対策として換気対応した空調システムを導入することで、利用者の安心・安全を確保する。 対象: 八森保健センター、ハタハタの町診療所
計	18,193千円	

(5) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金以外で対応予定の事業

事業名	事業費	事業内容
1 歯科診療機器購入事業	621千円	事業概要: 歯科治療中に口腔外に飛び散る水しぶきを防ぎ、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを防止する。 対象: 口腔外パキューム

議員から町へ(質疑・意見) (一部抜粋)

質疑 今回の事業の財源は。

答 左記資料(1)から(4)については、国の1次・2次の「新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金」3億3,190万円となっているが、学校関係のGIGAスクール事業等については、整備事業補助金を超えた残額を交付金対象としている。

質疑 「避難所衛生環境整備事業」の避難所8カ所で何人を想定しているのか。

また、乳幼児・女性等の弱者対応はどうなっているのか。

答 避難所は旧岩館小・八森小・旧八森中・役場・旧岩子小・峰浜小・旧埴川小・八峰中の8カ所で計画収容5,840人となっているほか、分散型避難を考慮しており、ファガスと峰栄館も対象としたい。

弱者対応については、福祉施設関係を含め利用したい。

質疑 換気対応空調設備導入事業で、八森保健センターとハタハタの町診療所の2施設とした理由及び1施設あたり800万円では高くないか。

答 2施設ともエアコンが10年以上経過し傷んでいる。診療所については各部屋1台で12台。保健センターについては、大型の天井設置タイプとなっている。

意見 塩害仕様とすること。

質疑 防災備蓄倉庫の場所と面積は。

また、3,000万円は高くないか。

答 庁舎前のATM横の舗装スペースに204㎡。平成21年に完成した現在の備蓄倉庫の額を基に積算。資材単価・人件費の高騰分を考慮している。

再質疑 備蓄品の分散は必要である。

旧岩館小学校は雨漏りもあり今後についても問題がある。岩館自治体からも要望も出ており、3,000万円をかけるのであれば、二重経費とならないよう、そちらを含めて検討すべきでは。

答 自治会からの要望の防災センターは今回の交付金のメニューにないので別途内容を検討し、新年度予算への計上も含め対応したい。今回は新型コロナ限定の

対応となっている。

質疑 温泉利用促進事業のクーポン券の対象施設と配布の方法は。

車が使えないと施設に行くことができず、高齢者等は利用できないのでは。

答 対象施設はあきた白神温泉ホテルとハタハタ館とし、全戸配布する。

より利用していただける方法を事業者とも協議し検討したい。

今回は、利用者が減っていること、行ったことがない方に施設を利用していただきたいということから事業を計画した。利用者の足の部分については事業者のバスの利用について協議する。

質疑 すべての自治体が(国から交付金が出たことにより)備品等を購入することとなり、納入は大丈夫か。

答 心配している。また値段も上がっている。当町に限った問題ではないので、町村会などでも協議し、対応したい。

質疑 雇用維持臨時給付金の(売上)影響額30%について、町の持続化給付金制度では20%で20万円、15%で15万円だったがその理由は。

答 前の制度は短期の状況で補助対象としたが、単月の比較では例外が生じることも確認されたことから、今回は複数月での比較としている。

助成額も上げることからハードルも上げている。

